

～次代を担う力を持った人間の育成～



恩方中だより

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/ongtj/>

八王子市立恩方中学校
令和8年5月29日発行
第2号
校長 植田 恭正

人とのつながりを大切に、地域とともに歩む学校



若葉の緑が日に日に鮮やかさを増し、爽やかな風に初夏の訪れを感じる季節となりました。新年度が始まり二か月が過ぎ、生徒たちも新しい学級や仲間との生活に少しずつ慣れ、学校生活にも落ち着きが見られるようになってまいりました。

さて、5月には苫小牧市の姉妹校である勇払中学校を修学旅行で訪問し、交流を深める機会をいただきました。温かい歓迎を受ける中で、互いの学校生活や地域文化について学び合い、生徒同士が心を通わせる大変貴重な時間となりました。こうした交流を通して、人とのつながりの大切さや、相手を尊重する姿勢について改めて考える機会になったことを大変嬉しく思っております。

一方で、近隣地域では熊の目撃情報が相次いでおります。学校でも安全指導を行っておりますが、生徒の皆さんには、登下校時には周囲に十分注意し、できる限り複数人で行動するなど、安全を第一に考えて行動してほしいと思います。ご家庭におかれましても、今一度安全についてお話しただければ幸いです。

また、5月下旬には中間考査が控えております。学力は、特別なことによって身につくもので

はなく、日々の授業を大切にし、一つ一つの学びを積み重ねる中で育まれていくものです。授業への集中、提出物への丁寧な取り組み、家庭学習の積み重ねを大切にし、自らの力を着実に高めたいと思います。

さらに、学校生活に慣れてくるこの時期だからこそ、改めて心に留めてほしいことがあります。友達との距離が近づく中で、何気ない言葉や軽いからかいが、知らず知らずのうちに相手を深く傷つけてしまうことがあります。親しさを深めることは大切ですが、その一方で、「自分がされて嫌なことは、決して人にしない」ということを忘れてはなりません。相手の気持ちを想像し、思いやりをもって接することのできる人であってほしいと願っています。

本校では、日頃より学校運営委員会の皆様にご多大なるご支援とご協力をいただいております。各種検定へのご協力をはじめ、学校運営委員会主催による勉強会の実施、さらには修学旅行への同行など、生徒たちの学びと成長を支えるために、様々な場面で温かいお力添えをいただいております。

また、5月の全校朝礼では、学校運営委員会の皆様にご来校いただき、一人一人より自己紹介をしていただきました。生徒たちにとって、地域の方々が自分たちの学校を支え、見守ってくださっていることを直接感じる、大変貴重な機会となりました。

学校は教職員だけで成り立つものではなく、保護者・地域の皆様のお力に支えられています。今後も地域とともに歩む学校として、生徒たちの健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



生徒たちの活躍の記録

～ 努力と成長の足跡 ～



【注意喚起】自転車事故が増加しています！登下校中の自転車の乗り方には注意を



恩方中学校では、新年度に入り自転車事故が発生しています。いずれも単独事故ではありますが、状況によっては大きな事故につながる可能性があり、注意が必要です。特に4月は自転車通学を始める生徒が増え、さらに道路交通法の改正により自転車にも青切符制度が適用されるなど、これまで以上に安全意識が求められています。そこで、自転車事故防止に向けて大切なポイントをまとめます。

■自転車事故の現状

- ・過去5年間で自転車製品事故は299件発生
- ・そのうち約8割が重傷事故
- ・10代の事故が最も多い

■事故の主な原因

- ・ハンドルや前輪のロック
- ・チェーン外れや破損
- ・傘や荷物、衣服の巻き込み
- ・ハンドルに荷物をかける行為

■注意すべきポイント

- ・傘やバッグはハンドルにかけない
- ・衣服（スカート等）の巻き込みに注意
- ・違反となる場合があり、反則金の対象になることもある

■実際の事件事例

- ・泥よけの緩みにより前輪がロックし転倒
- ・固定不十分で前輪が外れる事故

→いずれも事前点検で防げた可能性があります

■乗る前のチェック（4つのポイント）

- ①車輪に巻き込まれるものがないか
- ②ブレーキがしっかり効くか
- ③チェーンのたるみやさび
- ④車輪・ハンドル・ペダルの緩み

■安全に乗るために

- ・自転車店での定期点検を受けましょう
- ・乗る前の数分チェックを習慣にしましょう
- ・「慣れてきた頃」が最も危険です

日々の小さな確認が、大きな事故を防ぎます。自分の命を守るため、一人一人が安全意識を高めていきましょう。

学校運営協議会が英検リスニング対策教室を行いました！



学校運営協議会は、4月30日、5月22日に実施される英検（3級・4級・5級）に向けたリスニング対策教室を行いました。小学生4人を含む13人が参加し、集中して英語音声を聴き取りながら問題に取り組む姿が見られました。中学生の中には委員会活動を終えてから参加し、終了後はそのまま部活動へ向かう生徒もあり、意欲的で頼もしい様子が印象的でした。それぞれが目標に向かって努力を重ねる、充実した時間となりました。

令和8年度部活動保護者会を開催



本日、部活動保護者会を実施しました。体育館での全体会では、学校としての部活動の方針や運営の考え方、顧問紹介などを行い、その後、各部活動ごとに教室へ分かれて説明会を行いました。各部では活動内容や年間計画、持ち物や約束事について具体的な説明があり、保護者の皆様に理解を深めていただく機会となりました。今後ご家庭と連携しながら、生徒の成長を支えてまいります。

8日金曜日に令和8年度生徒総会を行いました！



5月8日（金）、令和8年度生徒総会が本校体育館で行われました。生徒総会は、生徒会活動の方針や各委員会の活動内容について全校生徒で確認し、一人ひとりが学校づくりに主体的に関わる大切な場です。当日は、生徒会本部や各専門委員会から活動目標や計画について説明が行われ、全校生徒が真剣な表情で耳を傾けていました。また、議案に対して質問や意見を述べる場面もあり、自分たちの学校生活をより良いものにしようとする意識が感じられました。生徒会役員だけでなく、全校生徒が学校の一員として考え、協力し合うことの大切さを改めて確認する機会となりました。今回の生徒総会で共有された思いを大切にしながら、今後も生徒一人ひとりが主体的に活躍する恩方中学校を築いていってほしいと思います。

【注意喚起】熊の出没情報に関して

すでに通知したように、5月10日の警視庁防犯メールで元八王子町二丁目付近における熊の目撃情報がありました。恩方中学校では11日、市獣害対策課と連携し事実確認を行ってまいりましたが、専門家の意見をふまえて熊の可能性が高いと判断しました。発生は4月29日午後8時過ぎです。春先になって、恩方地区周辺では、サルやイノシシ、シカが目撃情報も多数報告されています。特に朝夕の時間帯や山沿い、人通りの少ない場所では注意が必要です。登下校中や学習塾や習い事の帰りなどに加え、休日の外出時には、野生動物との遭遇を想定し、安全を意識して行動してください。

【野生動物・クマに遭遇した際の注意事項】

- ・早朝や夕方の川沿い、雑木林には近づかない
- ・暗くなってからの単独行動を避ける
- ・野生動物を見かけても近づかない
- ・写真や動画を撮ろうとして接近しない
- ・クマに遭遇した場合は、走って逃げない
- ・背中を向けず、様子をうかがいながら静かに後ずさりする
- ・大声を出したり、石や棒を投げたりしない
- ・子グマを見かけても近づかない（近くに母グマがいる可能性があります）
- ・イヤホンを外し、周囲の音や気配に注意する
- ・危険を感じた場合は、安全な建物へ避難し、学校や警察へ連絡する



熊出没注意!

熊の出没が多発しています。
十分に注意してください。

熊に会わないために

- 音を出しながら歩きましょう
鈴やラジオなどで人の存在を熊に知らせましょう。
- 一人での行動は避けましょう
できるだけ複数で行動し、熊の出没情報に注意しましょう。
- 食べ物やゴミは放置しない
匂いで熊を引き寄せる原因になります。必ず持ち帰りましょう。

もし熊に出会ってしまったら

- 静かにその場を離れる
慌てず、騒がず、背中を見せずにゆっくりと後退しましょう。
- 近づかない・刺激しない
大声を出したり、物を投げたりせず、熊を刺激しないようにしましょう。
- 子熊を見かけても近づかない
近くに親熊がいる可能性が高く、大変危険です。

熊を目撃したら
すぐに市町村や警察に
通報してください。

自分の命を守る行動を心がけましょう。

野生動物は、こちらが気付かないうちに近くにいる場合があります。自分自身の命を守る行動を第一に考え、安全に生活していきましょう。

【八王子市発表】上恩方町の親子熊について

17日18時35分頃、恩方中学校から約2キロの恩方マス釣り場より東側の夕やけテニス場側の山林から熊の親子が目撃されました。画像も学校として確認しました。その後の所在は不明なため、近くの山にいるものと推察されています。



こうした事態を受けて、恩方中学校では登下校時の注意を呼び掛けるとともに、該当地

区周辺を通学路とする生徒については個別に対応を指導いたしました。先週は城山中学校区での目撃情報がありましたが、今回は本校学区となります。周辺では、本日もパトカーや防犯協会の皆様、ならびに市獣害対策課が手配した専門家が箱罠の設置や足取りの確認などを行いました。

今後も高尾警察署や市獣害対策課と連携し、情報を綿密に取り合って対応を行ってまいります。

恩方中学校が獣害対策の取り組みで

テレビに取り上げられました！

ZIP!

恩方中学校の生徒たち
獣害対策の取り組みを紹介

7:05
9/11(水)

東京
32℃



恩方中学校の生徒たちが
鈴をつけて登校 獣害対策に取り組む

news
ジグザグ

サタデーニュースライブ
ジグザグ

読売テレビ・日本テレビ系 全国ネット



恩方中学校が実施した
「獣害対応避難訓練」について紹介されました！

恩方中学校では、地域と協力しながら
獣害からふるさとを守る学びを続けています！



八王子市立 恩方中学校

※この画像はAIで作成したイメージです。

クマから地域の子どもたちを守るために

～保護者・地域の皆様へ～

クマによる人身被害を防ぎ、子どもたちが安心して生活できる地域をつくるため、皆様のご協力をお願いします。

1 正しい情報を確認する



- 市や学校、警察から発信される出没情報を確認しましょう。

2 エサになるものを置かない



- 生ごみは放置しない
- 落果は片付ける
- ペットフードを屋外に置かない

クマ対策の目的は
**ヒトとクマが
出会わないこと**



地域みんなで守ろう
子どもたちの安全

3 出会わない工夫をする



- 早朝や夕方の単独行動を避ける
- 鈴やラジオなどで自分の存在を知らせる

4 地域の環境を整える



- 草刈りや枝払いを行う
- 見通しを良くする
- クマの隠れ場所をつくらない

子どもたちに伝えたいこと

⊘ 近づかない



⊘ 写真や動画を撮らない



⊘ 走って逃げない



⊘ 大声を出したり刺激したりしない



○ すぐに大人や学校へ知らせる



保護者・地域・学校・行政が連携し、
子どもたちの安全を守りましょう



クマとの遭遇を減らし、安心して暮らせるまちをみんなで作りましょう。

出典：八王子市クマ対策プロジェクト第2回会議資料

八王子・恩方中生徒と交流

千人同心の墓も訪問 クイズや合唱披露

勇払中

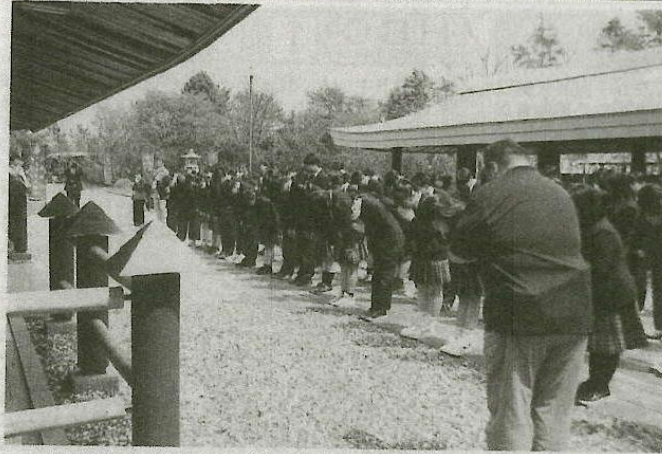
東京都八王子市の恩方中学校(植田恭正校長)の3年生71人が13日、苫小牧市勇払の蝦夷地開拓移住隊士の墓と、姉妹校の苫小牧勇払中学校(新島順治校長)を訪れた。両校生徒は交流会やクイズに挑戦したり、合唱を披露したりして親交を深めた。

修学旅行の一環で訪れた。同館学芸員の武田正哉(たけだ せいざ)さん(左)は、八王子千人同心が、その後、勇払中へ移動し、

恩方中の生徒71人は、勇武津資料館に隣接する蝦夷地開拓移住隊士の墓を訪問。本堂に花を添えて深く頭を下げ、18基の墓石に向かって静かに手を合わせ

思い出となるよう有意義な時間にしよう」と呼び掛けた。生徒たちは当初、照れる様子も見せていたが、クイズや校歌などを披露し合ううちに、すっかり打ち解けた。

恩方中の木村心咲(みづき)さんは勇払の自然について「見渡せる原っぱに驚いた」と印象を語った。江戸時代にロシアの南下政策から日



八王子千人同心の墓に手を合わせる恩方中の生徒たち



クイズで全問正解した恩方中の生徒にインタビューする勇払中学生



本を守るため勇払を訪れた八王子千人同心の歴史を知り、「ここに眠っていると考えるとすごいなと感じ」と話した。

2003年に協定を締結。勇払中の八王子訪問やビデオメッセージのやりとりで親交を深めてきた。恩方中の勇払への訪問は昨年に続き2回目。

(松原俊介)

北海道修学旅行中に行われた勇払中学校との交流の様子が、このたび北海道新聞、苫小牧民報に大きく掲載されました。記事では、恩方中学校の生徒たちが八王子千人同心の墓への訪問や、勇払中学校との交流会、クイズ大会、合唱披露などを通して、北海道の歴史や文化への理解を深める姿が紹介されています。姉妹校である勇払中学校の皆さんと笑顔で交流する様子や、生徒たちの真剣な学びの姿は、多くの方々に温かい感動を届けました。恩方中学校では、これからも地域の歴史や人とのつながりを大切に、生徒たちの視野を広げる学びを進めてまいります。



・ 勇払中学校との交流 ・ アイヌ文化体験 ・ 札幌市内自主研修 ・ 大倉山ジャンプ競技場 ・

ONGATA JHS 2026 HOKKAIDO SCHOOL TRIP



- 1 日目 恩方中→羽田空港→新千歳空港→勇払交流（千人同心）→ウポポイ→ルスツ
- 2 日目 ルスツ→尻別川ラフティング→札幌市内観光→エミシア
- 3 日目 エミシア→大倉山ジャンプ場→羊ヶ丘展望台→新千歳空港→羽田空港